

# なますて



नमस्ते

※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。

## おかげさまで光林会創立50周年！

昭和43年、知的障がい児施設ルンビニー学園からスタートした光林会ですが、早いもので今年度で50周年を迎えました。6月に記念の式典や記念イベントを行い皆様にお祝いしていただきました。

ルンビニー学園は前住職が何とか障がいのある子供たちやその家族の力になりたいと発願し、当時の総代始め檀信徒の皆様の温かい理解と多大なる浄財により創設出来たものです。半世紀に亘って継続し、現在のように発展出来たことも、何より檀信徒の皆様のご理解とご支援があつてのことと心より感謝申し上げる次第です。

半世紀前を振り返りますと、まだ障がいのある方々が社会の中で受け入れられているとは言い難い状況が多々あったと聞いています。例えば義務教育とは名ばかりで、「就学猶予」・「就学免除」の名のもとに学校にも通えず、自治体や教育委員会と折衝を重ねなんとか通学が認められたものだ…と前住職はよく言っていました。

その後、成人施設や福祉ホーム、グループホームの開設、そして就労の場や地域福祉サービスの充実、アートを紹介する美術館のオープン…と、時代の要請や地域のニーズに応える形で事業展開を進めて参りました。それがそのまま光林会の半世紀の歴史そのものだろうと思います。

光林会の理念は、『二度とない人生だから…』

慈しみと共感の心をもって、共生社会をめざしましょう

と掲げています。弱い立場にある人たちを排除するのではなく、同じ社会の中で受け入れ、お互いに支えあって生きる社会を目指しましょう！というものです。障がいがあってもなくても人生は一度きりです。障がいがあっても笑顔でいきいきと暮らせる社会をめざしていかなければなりません。一人ひとりがかけがいのない人生の「主人公」なのですから。

この50周年を契機として、心を新たにサービスの向上と地域福祉の充実のため、そして共生社会の実現のために努力して参りたいと存じます。引き続き皆様の益々のご理解・ご支援をお願い申し上げます。



多謝

# 第56回光林寺寄席

毎年、恒例の『光林寺寄席』が7月8日(日)に開催されました。今回の噺家さんは『柳家喬太郎』師匠(以後、師匠)です。師匠は、光林寺寄席ではお馴染み、『柳家さん喬』師匠の総領弟子であります。人気・実力共に特一級の噺家さんで、お呼びするのも一苦労(°ロ°)。1年以上前からお願いし、この度ご登場が叶いました。

今回は満員礼止め、黒山の人だかりで立ち見が出るほどの大盛況!! いざ落語が始まるや爆笑の渦。皆さん、涙を流しながらの抱腹絶倒(°ロ°)アンケートでも軒並み大絶賛でした。

落語は知識が無いと観れない、的な言われ方をされる事もありますが、師匠の高座を観ていると、知識が無くても面白い物は面白いんだ、と思わせて下さいます。また、お呼びしたい

です。

また、今回も裏千家高橋宗章社中の皆さんに、お茶席のご協力をいただきました。ありがとうございました。



柳家喬太郎 師匠

芸歴

- 1989(平成元)年10月 柳家さん喬に入門  
前座名「さん坊」
- 1993(平成5)年3月 ニツ目昇進  
「喬太郎」と改名
- 2000(平成12)年3月 真打昇進(12人抜き)
- 2014(平成26)年 落語協会理事に就任

主な受賞歴

- NHK新人演芸大賞落語部門大賞
- 文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞
- 国立演芸場花形演芸会大賞(3年連続)

他



↑満員御礼

## 秋季開山忌のご案内

お知らせ

- ◎日時 平成30年11月23日(金・祝日)
- 午前 9時45分 御詠歌
- 午前 10時30分 ご法話
- 午前 11時 開山忌法要

※ 秋季開山忌の塔前(当番地区)は  
八日市・富沢・松林寺・糠塚・二枚橋・大畑地区です。

ご協力の程、よろしくお願い致します。



# 第36回光林寺てらこや合宿

今年も恒例のてらこや合宿が7月29日～30日に行われました。今年は29名の小学生が集い『茶道&ひつまみ作り』に挑戦しました。

茶道体験では町内の裏千家高橋宗章社中の皆様にお越しいただきご教授いただきました。慣れない作法に戸惑いながらも皆、真剣な眼差し。何人かは体験時間が終わってからも自発的に『補習』を受ける子ども達もいました。

他にも、竹箸作りに竹馬、長縄飛びなどの伝承遊びや肝試し、朝の勤行、正座体験にウォークラリーなど盛りだくさんの2日間となりました。



↑ けっこうなお点前です



↑ お菓子食べるのも一苦労？



↑ 箸は自作です



↑ よ〜く混ぜて



↑ しっかりこねて



↑ ちぎって茹でて・・・熱っ!!



↑ おととつ!!!



↑ 朝のお勤め



↑ 朝食(玄米粥)

# 花まつり

桜咲く 4月28日、花まつりを開催しました。花まつりは仏教の開祖お釈迦様の誕生を祝う行事で「降誕会(ごうたんえ)」とも呼ばれます。(キリスト教で言えばクリスマスです。)本来は4月8日に行われる行事ですが、季候も良く、花の多いこの時期に開催しています。

当山の花まつりでは、ルンビニー苑や好地荘、松風園の利用者、八幡保育園の園児たち、計100名ほどを招いて開催しています。皆で献花・献灯し、お釈迦様のお像に甘茶を捧げ、花びらを撒き、お釈迦様のお誕生日を盛大にお祝いしました。

その他にも、八幡保育園園児の皆さんによるお歌のご披露や参加者全員での合唱など、楽しい会になったと思います。最後に住職からお菓子が配られ、みんな大喜びでした。



↑お歌の披露



↑甘茶を捧げます



↑花びらを撒きます

## 豊沢光林寺公園清掃奉仕 報告

今年の「豊沢光林寺公園清掃奉仕」は6月30日(土)に予定しておりましたが、豊沢ダム改修工事の関係で日時を7月15日に、人員も高橋憲一総代組8名に変更縮小し行いました。

当初参加予定であった皆様には大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。また、参加下さった皆様には衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 編集後記

光林寺の境内に六地藏さんがあります。お地藏様は六道のどこにいても人々をお守り下さるすごい仏様。特に子どもや赤ちゃんとの縁が深いのでお地藏様が赤い前掛けや頭巾を身につけておられる事がよくあります。

光林寺の六地藏さんはいつも綺麗な赤い前掛けをなさっています。これは佐々木アツ子さん、佐々木ミヤさん、高橋一子さん、八重樫妙子さん、玉山栄子さんら、門前にお住まいのご婦人方が毎年お盆前に新調し付け替えて下さっています。定期的にお掃除もしていただいています。本当に有難いことです。

皆様も参拝の際は六地藏さんにお手を合わせてください。きっとお守り下さいますよ。

